

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム セラビ高畑

## 目標達成計画

作成日: 平成 29 年 5 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	平成28年4月1日より義務化された「非常災害に備えた食糧及び飲料水の備蓄」に向け、計画的に防災食品を備蓄する必要がある。	常に、3日分の食糧・水を確保する。	・賞味期限切れにならないよう、定期的に日常の食事に非常食を取り入れ、災害時に日常生活に近い食生活を送れるようにする。	通年
2	2	一昨年(平成27年)、多数の中堅職員が退職したため若手職員の比率が高いこともあり、近年、入居者の異変時に適切な対応を取れないことがあった。(救急車の要請等)	若手職員のレベルアップ	・年間研修(OJT)計画を定め、毎月研修を実施する。 ・入居者異変時の対応についてもOJTの計画に含める。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。